

登壇者紹介

報道発表資料「令和8年度気象庁・横浜国立大学共催 中高生のための台風シンポジウム～台風研究の最前線と「その先」をめざすキャリアパス～を開催します」の別紙裏面

修正内容 松岡氏の所属
誤：海洋研究開発機構（JAMSTEC） 情報地球科学部門 上席研究員
正：海洋研究開発機構（JAMSTEC） 情報地球科学研究部門 上席研究員

講演1「観測

しまだ うだい
嶋田 宇大

気象研究所 台風・災害気象研究部 第二研究室 主任研究員
横浜国立大学 台風科学技術研究センター 客員准教授



埼玉県出身。北海道大学大学院 環境科学院 修士課程を修了後、2009年に気象庁に入庁。高解像度海面水温解析の開発などに従事し、2013年に気象研究所に異動。2017年には北海道大学大学院で博士号(環境科学)を取得。現在にいたるまで、レーダーや衛星、航空機等を駆使した観測による台風の内部構造の解明や、台風の予測精度の向上、さらには海外研究者と連携し台風の風分布推定に関わる研究などに取り組む。

講演2「AIは台風予測にブレイクスルーをもたらすか」

まつおか だいすけ
松岡 大祐

海洋研究開発機構（JAMSTEC） 情報地球科学研究部門 上席研究員
横浜国立大学 台風科学技術研究センター 客員教授



山口県出身。大島商船高等専門学校、愛媛大学 工学部を卒業後、同 大学院 理工学研究科で修士号・博士号(工学)を取得し、2009年よりJAMSTECに入職。AIによる画像認識・音響認識や、自然言語処理の地球科学への応用などを専門とし、2026年よりデータサイエンス研究プログラム・プログラム長を務める。

講演3「ELSIって何だろう？～台風制御において考えるべきこと～」

ささおか まなみ
笹岡 愛美

横浜国立大学 大学院 国際社会科学研究院 国際社会科学部門 教授
台風科学技術研究センター 教授



高知県出身。立命館大学 法学部を卒業後、慶應義塾大学大学院 法学研究科で修士課程を修了。同 博士課程を単位取得満期退学。流通経済大学 法学部 准教授などを経て、2015年から横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院に所属。商法・会社法などを中心に、現在は宇宙ビジネスや気象制御など法整備が十分ではない新規分野における法的・社会的な課題の研究に取り組む。

トークセッション ～気象学で描くミライ～



あべ みらい
阿部 未来

横浜国立大学大学院 国際社会科学府 博士課程3年 神奈川県出身。新規科学技術が安全に研究・開発・社会実装されるためのルール形成に興味がある。現在、気象改変技術に関する各国国内法を調査中。

くろだ りお
黒田 理央

気象大学校4年生 奈良県出身。現在、「単一カラムモデルで表現される陸上大気境界層における日周サイクルの評価」というテーマで卒業研究に取り組む。

あんどう あきら
安藤 慧

気象庁 アジア太平洋気象防災センター 技官 大分県出身。2018年に気象大学校を卒業後、石垣島地方気象台での気象観測や、数値予報課で気象衛星データを数値予報に活かす開発業務などに従事し、現在は台風に関する予報作業などを担当。

いいだ こうき
飯田 康生

宇宙航空研究開発機構(JAXA)地球観測研究センター 研究開発員／横浜国立大学 台風科学技術研究センター 客員助教 兵庫県出身。金沢大学 自然システム学類 卒業後、横浜国立大学大学院で修士号、京都大学大学院で博士号(工学)を取得。日本学術振興会の特別研究員制度を利用し東京大学での特任研究員を経験し、現在JAXAでは「Today's Earth」のモデル解析や改良に取り組む。

司会／ファシリテーター **竹下 愛実**

たけした めぐみ



愛知県出身。気象キャスターとしてNHKや民放各局で気象情報担当を歴任、横浜国立大学 台風科学技術研究センター 所属。気象予報士のほか、防災士や気象防災アドバイザー、野菜ソムリエなどの資格を活かし、これまで学校での講演やキャリアパス教育、企業や自治体での防災研修のほか、テレビ・ラジオの出演やWebニュースの執筆など幅広く活動。

申込はコチラ



参加方法：左記QRコードまたはURL（<https://trc.ynu.ac.jp/>）から7月20日までにお申込ください（申込多数の場合は早期に締切ることがあります）。
問合せ先：✉ 4559trc@gmail.com／☎ 045-339-3494(平日10時～17時)



登壇者紹介

講演1「観測“空白域”に挑む！知られざる台風の正体」

しまだ うだい
嶋田 宇大気象研究所 台風・災害気象研究部 第二研究室 主任研究官
横浜国立大学 台風科学技術研究センター 客員准教授

埼玉県出身。北海道大学大学院 環境科学院 修士課程を修了後、2009年に気象庁に入庁。高解像度海面水温解析の開発などに従事し、2013年に気象研究所に異動。2017年には北海道大学大学院で博士号(環境科学)を取得。現在にいたるまで、レーダーや衛星、航空機等を駆使した観測による台風の内部構造の解明や、台風の予測精度の向上、さらには海外研究者と連携し台風の風分布推定に関わる研究などに取り組む。

講演2「AIは台風予測にブレイクスルーをもたらすか」

まつおか だいすけ
松岡 大祐海洋研究開発機構 (JAMSTEC) 情報地球科学部門 上席研究員
横浜国立大学 台風科学技術研究センター 客員教授

山口県出身。大島商船高等専門学校、愛媛大学 工学部を卒業後、同 大学院 理工学研究科で修士号・博士号(工学)を取得し、2009年よりJAMSTECに入職。AIによる画像認識・音響認識や、自然言語処理の地球科学への応用などを専門とし、2026年よりデータサイエンス研究プログラム・プログラム長を務める。

講演3「ELSIって何だろう？～台風制御において考えるべきこと～」

ささおか まなみ
笹岡 愛美横浜国立大学 大学院 国際社会科学研究院 国際社会科学部門 教授
台風科学技術研究センター 教授

高知県出身。立命館大学 法学部を卒業後、慶應義塾大学大学院 法学研究科で修士課程を修了。同 博士課程を単位取得満期退学。流通経済大学 法学部 准教授などを経て、2015年から横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院に所属。商法・会社法などを中心に、現在は宇宙ビジネスや気象制御など法整備が十分ではない新規分野における法的・社会的な課題の研究に取り組む。

トークセッション ～気象学で描くミライ～

気象や台風を
学んだり研究したり
できる場所は？将来
実現したい
ことは？どうやって
気象に関する仕事
に就いたの？あべ みらい
阿部 未来

横浜国立大学大学院 国際社会科学府 博士課程3年 神奈川県出身。新規科学技術が安全に研究・開発・社会実装されるためのルール形成に興味がある。現在、気象改変技術に関する各国国内法を調査中。

くろだ りお
黒田 理央

気象大学校4年生 奈良県出身。現在、「単一カラムモデルで表現される陸上大気境界層における日周サイクルの評価」というテーマで卒業研究に取り組む。

あんどう あきら
安藤 慧

気象庁 アジア太平洋気象防災センター 技官 大分県出身。2018年に気象大学校を卒業後、石垣島地方気象台での気象観測や、数値予報課で気象衛星データを数値予報に活かす開発業務などに従事し、現在は台風に関する予報作業などを担当。

いいだ こうき
飯田 康生

宇宙航空研究開発機構(JAXA)地球観測研究センター 研究開発員／横浜国立大学 台風科学技術研究センター 客員助教 兵庫県出身。金沢大学 自然システム学類 卒業後、横浜国立大学大学院で修士号、京都大学大学院で博士号(工学)を取得。日本学術振興会の特別研究員制度を利用し東京大学での特任研究員を経験し、現在JAXAでは「Today's Earth」のモデル解析や改良に取り組む。

司会／ファシリテーター たけした めぐみ
竹下 愛実

愛知県出身。気象キャスターとしてNHKや民放各局で気象情報担当を歴任、横浜国立大学 台風科学技術研究センター 所属。気象予報士のほか、防災士や気象防災アドバイザー、野菜ソムリエなどの資格を活かし、これまで学校での講演やキャリアパス教育、企業や自治体での防災研修のほか、テレビ・ラジオの出演やWebニュースの執筆など幅広く活動。

申込はコチラ



参加方法：左記QRコードまたはURL (<https://trc.ynu.ac.jp/>) から7月20日までにお申込ください(申込多数の場合は早期に締切ることがあります)。
問合せ先：✉ 4559trc@gmail.com / ☎ 045-339-3494(平日10時～17時)

